

国内マーケット

# 整備代理店に外国人実習生

## ジャパン興業 日本興業 損保日

### 受け入れ 支 援 今秋にも第1陣

損害保険ジャパン日本興業は、外国人技能実習生の受け入れ支援に乗り出す。整備人材の不足に危機感を示す代理店サポートの一環として推進する。漁業や食品加工、溶接などの外国人技能実習生の受け入れ実績のある監理団体と提携し、制度の適正な実施に取り組み。すでに同制度を活用し、実習生の実技試験や面接を実施した事業者もあり、早ければ今秋にもベトナムから第1陣の実習生が来日する見通しだ。

2016年4月に「技能実習制度推進事業等運営基本方針」が一部改正され、技能実習対象職種に自動車整備が追加された。これを受けて、国土交通省でも整備人材確保策

の1つとして仕組みの活用を促している。そこで、同社は流通産業協会(RSK、山村洋行代表理事)と提携し、代理店に00人の受け入れ実績があ

る。また、15年6月には茨城県内に研修施設を設置。入国後1カ月間の日本語教育やゴミ出しなどのルール、スーパーなどでの買い物マナーなど、生活していく上で最低限必要となりそうなことを学ぶ。受け入れ企業に配属後にも定期的な訪問などを通して、実習生のサポートにあたる。さらに、技能実習生の募集から選考、教育、帰国後の

フォローなどを総合的に手がける現地送り出し機関のLDD人材開発(フー・コン・ピソ会長)と連携して優秀な人材を確保している。

20日にベトナム・ハノイで外国人技能実習生の候補者9人と面接した彌生チーセル工業(東京都江戸川区)の細田健社長は「人材が採用しにくくなっている。実習生は貴重な戦力としても期待しているが、日本で技術を学び、現地でその力を発揮してもらいたい」と社会貢献としての意味合いも強いことを強調する。また、だいにち自動車(堺市北区)の高橋仁嗣社長は「毎

年定期的に採用できないことが悩みだった。3年間どころか技術を身に付けてもらうことで現場の負担軽減にもつながるのでは」と期待を込める。2社は今秋にも、それぞれ3人のベトナム人実習生を受け入れる。

### 本格カーケア専門店全国展開

## エヌエム、福井に1号店

特殊高圧洗浄コーティング機の製造販売などを手がけるエヌエム(松井正己社長、福井市)は、本格カーケア専門店「バリアクリスタル」の全国展開を目指す。このほど福井市内に開設した「バリアクリスタル福井」写真を実験店舗と位置づけて、カーケアへのこだわりを持つユーザーをターゲットにしたカーケアメニューや技術のマニュアルを作成する。同社製品を導入している整備工場などへ事

業ブランドとして展開していく方針だ。バリアクリスタルは、4種

